

活動内容	〈題〉 <u>子どもの健全育成のために</u>
	学級名 <u>永井小家庭教育学級</u>
	学級担当者 <u>吉田 孝仁 (副校長)</u>

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 永井小学校PTA会員 (248名)
- ・ 学級の運営組織 永井小学校PTA教養部
- ・ 学習のねらい、重点 PTA会員がコミュニケーションをとる機会を作ることで、家庭教育の情報交換の場となるようにする。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
1	11/30 (木)	大人が知るべき子どもの姿勢と発育 ～猫背やスポーツ障害を防ぐ～	博士 (健康科学) / KCS センター盛岡駅前/材木町、紫波中央院 両代表 小野寺 靖	22名
	18:30 ～19:40	内 容 ・ 腰痛の8割以上は「原因不明」 ・ 「器質性障害」と「機能的障害」の違い ・ 機能的障害が起きる理由 ・ 機能的障害の防止と改善	感 想 等 ・ 体全体のバランスを取ろうとした結果として姿勢が悪くなるのであり、例えば「猫背」だけを矯正しても有効とは言えないことが分かった。 ・ 身体の「機能的障害」について大人が正しい知識を持つ必要があることを、強い思いを込めてお話しいただいた。	
2	日 時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
		内 容	感 想 等	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・コロナ禍にあって工夫したこと

- ・ テーマである「子どもの健全育成」に沿った講師を招き、学びを深めることができた。
- ・ 広い会場を用意し、換気を徹底することで、感染のリスクを抑えるよう努めた。

(2) 今後の課題

- ・ 宣伝は十分に行ったが、想定したよりも参加者が少なかったため、興味をもってもらえるような宣伝方法を工夫する必要がある。

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関すること等

- ・ 共働きで多忙な家庭が多い中ではあるが、必要な「大人の学び」をいかに保障していくかを考えていきたい。